

- 9月21日 京都観光(京都駅12:00解散)
 (B) 越後奥只見ツアー(所用経費 ¥30,000)
 13 km のトンネルの先にひっそりと横たわる奥只見
 銀山湖、「北越雪譜」で知られた江戸期の越後の文人鈴
 木牧之の記念館、雪崩防止工の数々を見学する。
 9月18日 長岡一銀山湖一大湯温泉
 9月19日 大湯温泉一鈴木牧之記念館一雪崩防止工
 見学一越後湯沢

シンポジウム参加申込の方法(日本在住者用):

本シンポジウムへの参加される方は添付の参加申込書
 に必要事項を記入し、IGS本部へそれを送ると共に、添
 付の振込用紙により所定の参加登録費を下記へ送金して

下さい。その際参加申込書の写しを下記に必ずお送り下
 さい。

(参加申込書の写し送付先)

〒940 長岡市幸町2-1-1

長岡市役所

企画調整部克雪・防災課内

1992年国際雪氷学シンポジウム事務局

(参加登録振込先)

銀行名 北越銀行 長岡市役所支店

預金口座 普通預金

口座番号 38247

名義 International Glaciological Society

第3回メソ気象研究会開催のお知らせ

第3回メソ気象研究会を、1992年日本気象学会春季大
 会の前日に開催いたします。今回は「風」をテーマにい
 ろいろなトピックスを集めました。奮って、ご参加下さ
 い。

プログラム

1992年5月25日(月) 13:00~17:00

気象研究所(つくば)

テーマ:「風をつかまえろ!」(仮題)

コンピーナー:吉崎正憲(気象研)

一座長:小元敬男(大阪府立大学)一

1. 新野 宏(気象研):1990年12月11日の千葉県
のシビア・ストームの解析
2. 林 泰一(京大防災研):竜巻などの瞬発性気象現
象に伴う強風とその被害について
3. 大野久雄(気象研):岡山ダウンバースト・

1991年6月27日午後一データの種類、
 解析結果、今後の観測システム一
 一休憩一

一座長:坪木和久(東大海洋研)一

4. 山中大学(京大超高層):VHF/UHF 電波の語る
空の様子とその気象語への翻訳
5. 渡辺 明(福島大):寒気吹き出し時の大気擾
乱のメソ構造(MUレーダー等による
観測結果から)
6. 榊原 均(気象研):ドップラーレーダーでと
らえたメソスケール現象

◎総合討論

代表世話人 小倉義光(日本気象協会)
 事務局 吉崎正憲(気象研究所)
 坪木和久(東大海洋研)

大気-海洋相互作用研究会開催のお知らせ

大気-海洋相互作用研究会を、1992年度日本気象学会
 春季大会の前日(5月25日(月))に下記の要領で開催い
 たします。ふるってご参加下さい。

1. 日時:1992年5月25日(月), 13:30~17:00
2. 場所:未定(気象研究所あるいは春季大会会場(工
業技術院講堂)を予定)

3. テーマ:「中・高緯度における大規模大気-海洋相
相互作用」(仮題)

コンピーナー:花輪公雄(東北大理)

4. 研究会の詳細については次号でお知らせ致します。

研究会事務局 藤谷徳之助・中沢哲夫(気象研究所)